

研究計画書

ゼミ名	春日ゼミⅡ	チーム名	ハーバーカスガ
タイトル	ねえ、神戸港、知ってる？		
テーマ群	a)理論・情報 e)産業・企業		
メンバー			
研究計画内容	<p>1868年に開港した神戸港は、国際貿易港として常に最新の設備を整備され、人・物・情報が行き交う世界的にも重要な拠点として発展してきた。2006年には神戸空港が開港し、神戸は海・空・陸の総合交通体系が確立されるとともに、神戸港は新たな機能を担うことが期待されている。本研究では、今年開港150周年を迎える機を捉え、神戸港の現状や成長可能性について調査・検討し、今後の発展可能性について考察することとする。</p> <p>まず開港以来の歴史を振り返り、日本における神戸港の地位がどのように変遷してきたかを概観する。その過程で現地へ出向きフィールド調査を行うなど、実体験に基づく調査を行うこととしている。特に貿易面では、阪神淡路大震災から減退気味であることが指摘されているが、どの程度落ち込み具合が激しいか、また復活のためにどのような施策が行われており、どのような効果をあげているか等について、五大港と呼ばれる東京港・横浜港・名古屋港・大阪港それぞれの比較を通じて考察する。また特に関西地区で重要な神戸港・大阪港・関西空港の輸出・輸入状況についても特徴を整理する。</p> <p>次に、観光面について焦点を当てる。神戸の観光客は年々増加傾向にあるが、神戸の観光地としての魅力を上げるとともに、外国人観光客数の推移を調査する。また特に神戸港との関連で、クルーズ産業についての現状について調査する。</p> <p>以上の調査・分析結果を踏まえ、今後の神戸港の発展について幾つかの仮説を立て提示する。阪神淡路大震災の打撃を受け、かつ産業面でも地盤沈下が指摘されている関西地区における神戸港が、今後どのような役割を担っていくことが期待されているか、そのために必要な施策はどのようなものか、等について、我々の意見を述べる予定にしている。</p>		